

米国のトランプ大統領は4月23日の記者会見で、新型コロナウイルス感染者に「消毒液を注射してみてもはどうか」などと発言し、波紋を広げました。

米メディアによると、一部の州などでは消毒液を巡って問い合わせが急増し、当局が対応に追われたといっています。

アルコール消毒はこのウイルスに対する感染予防には有効ですが、消毒液の摂取など非常に危険で論外です。飲酒でウイルスを除去できる、あるいは免疫力がつくとといった誤った情報も出回りました。

新型コロナウイルスに関する誤情報も飛び交うなか、世界保健機関(WHO)は、「アルコールを摂取しても新型コ

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

# 巣ごもり生活にリスク

にもいます。米国では、在宅勤務者の3人に1人が、在宅勤務中に飲酒すると答えています。

過度の飲酒は、がんも増やします。アルコールは、男性の発がん原因の9%を占めます。肥満は0・8%、野菜不足は0・7%、運動不足は0・3%にすぎませんから、いかにお酒の影響が大きいか分

かります。また、最近では「過度」ではなく、少量のお酒でもがんのリスクを高めるという研究結果も出ています。「巣ごもり飲酒」はがん予防の面でも危

険だといえるでしょう。

在宅勤務は、喫煙も増やすようで、SNS(交流サイト)には「在宅でたばこが増えた」という投稿も目立ちます。喫煙は新型コロナウイルス感染症の重症化のリスクを高めますし、酒とたばこが重なると、発がんのリスクも高まりますから要注意です。

巣ごもり生活で運動不足となり、糖尿病を発症すると、膵臓(すいぞう)がんや肝臓がんは2倍に、がん全体でも2割も増えます。こまめに体重計に乗ることが大切です。

感染症対策が、結果的にがんを増やすことになっては、本末転倒。「全体としての健康」を保つことが大切です。

(東京大病院准教授)